

流通・物流の効率化・付加価値創出に係る基盤構築事業

令和2年度予算額 **3.0億円（新規）**

商務・サービスグループ
消費・流通政策課
03-3501-1708

事業の内容

事業目的・概要

- 流通・物流業においては、少子高齢化による深刻な人手不足やそれに伴う人件費の高騰が進む一方、消費者ニーズが多様化しています。ECが拡大している状況などもある中、IoT技術やデータを活用し、店舗運営の効率化による生産性の向上を実現するとともに、新たな付加価値を創出することが、社会的な役割の大きい流通・物流業の持続可能な成長にとって重要となっています。
- 本事業では、電子タグなどIoT技術を活用した、店舗の効率的運営の整備や、新たな付加価値を創出・提供するための、IoT技術や生活者のデータを活用した関連サービス提供の基盤の整備に資する実証等を行い、実装のための更なる研究開発につなげます。また、日本の強みである実店舗網を活かした、流通・物流インフラの連携による新たな宅配サービスの構築の実現に向けた研究開発等を行うための環境整備を行います。

成果目標

- 流通・物流の効率化・付加価値創出に向け、実証実験などによる先進的事例創出や必要な指針策定を行い、環境整備を進めるとともに、実装のための更なる研究開発につなげることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

（１）店舗等の効率的運営・付加価値向上実現事業

- 流通・物流構造（店舗・サプライチェーン等）の効率化や付加価値向上を実現するため、電子タグなど先進的なIoT技術を活用したシステムの構築・実証等を行います。
- 具体的には、電子タグ等を利用したシステムによって、食品管理など法令で求められる要件を満たすことの確認や、食品ロスなどの社会課題への対応に関連して、実証実験から得られたデータやその分析を基に指針の策定等を行います。
- また、流通・物流に関連して得られた情報を踏まえ、新たな商品・サービスの実現につながる取組の検証・実証を行います。
- これらの実証を踏まえ、システムにおける技術的課題を抽出し、実装に向けた更なる研究開発につなげます。

（２）ラストワンマイルにおける新たな宅配サービス構築事業

- 物流で特に人手がかかるラストワンマイルにおいて、自動走行ロボットの活用等を通じた新たな宅配サービスの構築が必要です。安全性等に係る海外実態調査・関連データの検証等を行い、今後、民間企業等が物流のためのロボットの研究開発等を行うための環境整備を行います。

